

## 「あいさつ運動」と「健やか希望が丘プラン」を实践・推進する

ねがい

### 〈目的〉

「あいさつとありがとう」が素直にいえ、「基本的生活習慣」と「学習習慣」が身についた児童・生徒を育てるという目標を設定し、「あいさつ運動」や集団づくりを推進することにしました。

### ● 児童会・生徒会とボランティアによる「あいさつ運動」の展開

つながり

各学期の最初の1週間を「あいさつ重点週間」として、小中の児童会、生徒会であいさつ運動を展開してきました。

「さぬきっ子あいさつ運動」ともタイアップし、あいさつボランティア等による活動を続けています。校区の小学生と中学生が互いにあいさつをかわすよう指導しています。

また、地域の人達にもあいさつすることで、あいさつの輪を広げています。



【あいさつ運動の様子】

### ● 「健やか希望が丘プラン」による基本的な生活・学習習慣の定着

校区の小中で生活・学習習慣の定着をめざして作成した「健やか希望が丘プラン」を各校で実践する活動を行っています。本年度は特に、以下の2点を重点に取り組んでいます。

- ① 「早寝、早起き、朝ごはん」の定着を小中で実践しています。
- ② 全校集会等での発表は、マイクなしで大きな声で行っています。

早寝、早起き、朝ご飯の良習慣は小中で連携して継続的に取り組んでいきます。また、服装や頭髪等について、小中で意識的に指導することにこれから取り組んでいきたいと考えています。



【全校集会での発表】

【小学校のみだしなみVキャラクター】



### ● 自己有用感を高めるため、自他を大切にしたい学び合いの場を工夫

友達のよいところや頑張っているところをみつけ合い、個々の有用感を高めたり、感謝の心を伝えたりしています。友達同士認め合う心を育てる取り組みにしたいと思います。

- 例
- ・ 良い行いを奨励する活動（ボランティア活動）
  - ・ 縦割り活動による「構成的グループエンカウンター」
  - ・ 人権に関するエクササイズ（月1回）



【構成的グループエンカウンター「ギョット団結」】

### 〈成果〉

高まり

あいさつ運動については、学期始めの1週間を強調週間とし、『タスキ』をかけて登校したり、マナー化を防ぐために『あいさつ名人』の称号をあたえたりする工夫がみられ、徐々に広まってきています。「健やか希望が丘プラン」の实践や自己有用感を高める工夫は、各校で実情にあった取り組みを継続しながら、小中の情報交換と実践の重点化が大切と考えています。